

種別 [-] [- -] [- -] [- -] [- -] 原因 []

身体障害者診断書・意見書（肢体不自由用）

総括表

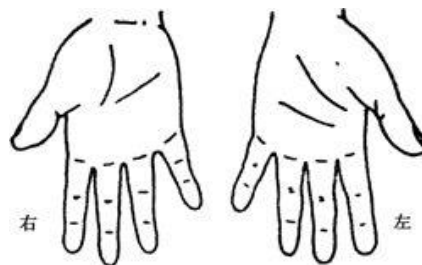
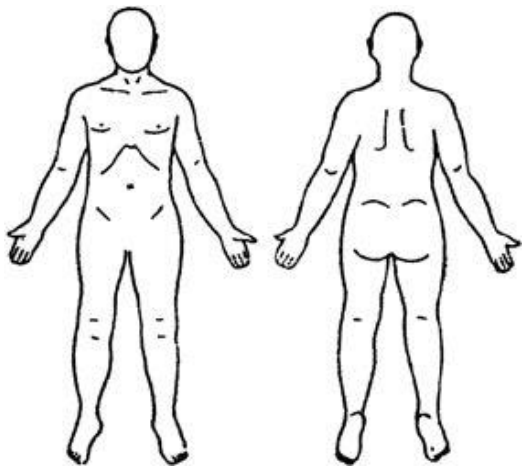
氏名	年 月 日生	男 女
住所		
① 障害名（部位を明記）		
② 原因となった 疾病・外傷名	1 交通 2 労災 3 その他の事故 4 戦傷 5 戦災 6 自然災害 7 疾病 8 先天性 9 その他（ ）	
③ 疾病・外傷発生年月日	年 月 日・場所	
④ 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）		
障害固定又は障害確定（推定）		
年 月 日		
⑤ 総合所見		
〔将来再認定 要（軽減化・重度化）・不要〕 〔再認定の時期 年 月〕		
⑥ その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。		
年 月 日		
病院又は診療所の名称		
所在地		
診療担当科名 科 医師氏名		
身体障害者福祉法第15条第3項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入〕		
障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 該当する（ 級相当） ・ 該当しない 		
<p>注意 1 障害名には現在起っている障害、例えば両眼失明、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、角膜混濁、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入して下さい。</p> <p>2 歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、「歯科医師による診断書・意見書」（別様式）を添付してください。</p> <p>3 障害区分や等級決定のため、地方社会福祉審議会から改めてお問い合わせする場合があります。</p>		

肢体不自由の状況及び所見

神経学的所見その他の機能障害(形態異常)の所見(該当するものを○でかこみ、下記空欄に追加所見記入)

- 1 感覚障害(下記図示) : なし・感覚脱失・感覚鈍麻・異常感覚
- 2 運動障害(下記図示) : なし・弛緩性麻痺・痙性麻痺・固縮・不随意運動・しんせん・運動失調・その他
- 3 起 因 部 位 : 脳・脊髄、末梢神経・筋肉・骨関節・その他
- 4 排尿・排便機能障害 : なし ・ あり
- 5 形 態 異 常 : なし ・ あり

参 考 図 示



右		左
	上 肢 長 cm	
	下 肢 長 cm	
	上 腕 周 径 cm	
	前 腕 周 径 cm	
	大 腿 周 径 cm	
	下 腿 周 径 cm	
	握 力 kg	

× 変形 切離断 感覚障害 運動障害

(注) 関係ない部分は記入不要

動作・活動 自立-○ 半介助-△ 全介助又は不能-×、()の中のものを使う時はそれに○

寝がえりする			シャツを着て脱ぐ	
あしをなげ出して座る			ズボンをはいて脱ぐ(自助具)	
椅子に腰かける			ブラシで歯をみがく(自助具)	右 <input type="checkbox"/> 左 <input type="checkbox"/>
立つ(手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具)			顔を洗いタオルで拭く	
家の中の移動(壁、杖、松葉杖、義肢、装具、車椅子)			タオルを絞る	
洋式便器にすわる			背中を洗う	
排泄のあと始末をする	右 <input type="checkbox"/>	左 <input type="checkbox"/>	二階まで階段を上って下りる(手すり、杖、松葉杖)	
(箸で) 食事をする(スプーン、自助具)	右 <input type="checkbox"/>	左 <input type="checkbox"/>	屋外を移動する(家の周辺程度)(杖、松葉杖、車椅子)	
コップで水を飲む	右 <input type="checkbox"/>	左 <input type="checkbox"/>	公共の乗物を利用する	

注：身体障害者福祉法の等級は機能障害 (impairment) のレベルで認定されますので () の中に○がついている場合、原則として自立していないという解釈になります。

計 測 法：

- 上肢長：肩峰→橈骨茎状突起
- 下肢長：上前腸骨棘→(脛骨)内果
- 上腕周径：最大周径
- 前腕周径：最大周径
- 大腿周径：膝蓋骨上縁上10cmの周径 (小児等の場合は別記)
- 下腿周径：最大周径


6 更生医療補装具の必要性の所見

関節可動域 (ROM) と筋力テスト (MMT) (この表は必要な部分を記入)

筋力テスト ()	関節可動域	筋力テスト ()	関節可動域	筋力テスト ()
() 前屈	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	後屈 () 頸 () 左屈	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	右屈 ()
() 前屈		後屈 () 体幹 () 左屈		右屈 ()
右 () 屈曲	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	伸展 () () 伸展	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	左 屈曲 ()
() 外転		内転 () 肩 () 内転		外転 ()
() 外旋		内旋 () () 内旋		外旋 ()
() 屈曲		伸展 () 肘 () 伸展		屈曲 ()
() 回外		回内 () 前腕 () 回内		回外 ()
() 掌屈		背屈 () 手 () 背屈		掌屈 ()
() 屈曲		伸展 () 中指節 (MP) () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲		伸展 () 母 () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲		伸展 () 示 () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲		伸展 () 中 () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲		伸展 () 環 () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲		伸展 () 小 () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲		伸展 () 近位指節 (PIP) () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲		伸展 () 母 () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲		伸展 () 示 () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲		伸展 () 中 () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲		伸展 () 環 () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲		伸展 () 小 () 伸展		屈曲 ()
() 屈曲	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	伸展 () () 伸展	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	屈曲 ()
() 外転		内転 () 股 () 内転		外転 ()
() 外旋		内旋 () () 内旋		外旋 ()
() 屈曲		伸展 () 膝 () 伸展		屈曲 ()
() 底屈		背屈 () 足 () 背屈		底屈 ()

備考

注:

1. 関節可動域は、他動的可動域を原則とする。
2. 関節可動域は、基本肢位を0度とする日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会の指定する表示法とする。
3. 関節可動域の図示は、 のように両端に太線をひき、その間を矢印で結ぶ。強直の場合は、強直肢位に波線(く)を引く。
4. 筋力については、表()内に×△○印を記入する。
×印は、筋力が消失または著減(筋力0, 1, 2該当)
△印は、筋力半減(筋力3該当)

○印は、筋力正常またはやや減(筋力4, 5該当)

5. (PIP)の項母指は(IP)関節を指す。
6. DIPその他手指の対立内外転等の表示は必要に応じ備考欄を用いる。
7. 図中ぬりつぶした部分は、参考的正常範囲外の部分で、反張膝等の異常可動はこの部分にはみ出し記入となる。

例示

(×)伸展  屈曲(△)